

区自治協議会提案事業 事業評価書

秋葉区自治協議会(第3部会)

区分	内容
テーマ・事業名	Akiha おとな大学 【事業費予算 612 千円】
事業目的・概要	秋葉区の特徴や史跡・旧跡、魅力ある歴史を学んでもらうことで地域への愛着や興味関心をさらに高めるとともに、学びを次世代に引き継ぐ、未来につながる主体的な学びの機会とする。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<ul style="list-style-type: none"> ●対象者:秋葉区在住の成人(20歳以上) ●募集定員:15名 ●申込者数:22名申込(23名申込のところ1名キャンセル) ●開催日程 <p>【第1回】1月25日(火曜) 9:00~12:30 秋葉硝子細工づくり体験と新津工業高等学校見学</p> <p>【第2回】2月5日(土曜) 10:30~11:30 JR東日本 新津運輸区 SL 保管庫見学</p>
事業の評価 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;"> 地域課題の区自治協議会提案事業 事業評価抽出方法 や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など </div>	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●まん延防止措置により事業延期となったが、企画は秋葉区の魅力が詰まった良いものであり、応募者が予想以上に多かったことから、区民にとって興味・関心の持てる内容であったことが確認できた。 ●東京オリンピックの7人制ラグビー日本代表に秋葉区出身の原選手が選出されたことを受け、応援のぼり旗を作成・設置してエールを送った。 <p>【今後への提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●秋葉区の様々な魅力を知る「きっかけ」となるようなはじめの一步の事業実施から始め、次のステップとして深化を図っていけるような企画が必要。 ●コロナ禍での実施を考えたときに、屋外での開催も視野に入れるなどして、開催形式を検討しておく必要がある。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●延期した事業について、状況を見ながら実施時期を再検討し、実施する必要があるが、開催の決定については十分な熟議が必要。 ●コロナ禍でも実施できる内容や代替案、オンライン開催など開催形式の検討が必要。